

独立社外取締役やその属性別選任と株主価値

武 田 克 巳
西 谷 公 孝

目 次

- | | |
|-----------|---------|
| 1. はじめに | 4. 推定結果 |
| 2. 仮説 | 5. 結論 |
| 3. データと変数 | |

本稿の目的は、取締役会で議決権を有する独立社外取締役に着目し、その選任と株主価値との関係を分析することである。実証分析の結果、「独立社外取締役割合の高い企業では株主価値が高い」、「独立社外取締役割合と株主価値の関係はその属性によって異なる」という仮説が支持された。即ち、独立社外取締役の選任と株主価値には正の相関関係があるものの、特に他企業出身者の選任との間にそうした関係があることが明らかとなった。

1. はじめに

従来、日本企業の取締役会は、内部昇進者が多くを占め、経営と監督の分離が不完全であることを特徴としていた。しかし、バブル崩壊以降、外国人をはじめとする機関投資家による発言力が強くなると同時に、コーポレート・ガバナンスの改

革を求める声も強くなってきた。

コーポレート・ガバナンス改革の議論における主要な論点の一つは、独立社外取締役の機能を活用することによってコーポレート・ガバナンスの実効性の向上を図ろうとする観点に基づく独立社外取締役選任義務化の是非である。独立社外取締役の前提となる社外取締役については、現行の会



武田 克巳（たけだ かつみ）

バンドー化学(株)総務部法務・広報・CSRグループ グループ長。2001年3月同志社大学大学院法学研究科私法学専攻修了。同年4月同社入社。営業部を経て05年12月から経営企画部法務担当。法務・知的財産部等を経て13年4月から現職。06年から神戸株式法務研究会常任委員。11年から12年まで全国株懇連合会理事。12年9月神戸大学大学院経営学研究科現代経営学専攻修了。



西谷 公孝（にしに きみたか）

神戸大学経済経営研究所准教授。2002年南クイーンズランド大学経営大学院MBA課程修了、09年神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了。博士（経営学）。広島大学大学院国際協力研究科特任助教を経て現職。論文に「コーポレート・ガバナンスと女性の活躍（共著）」『日本経済研究』65号（2011年）、「企業の環境への取り組みやその情報開示が株主価値に与える影響」『環境経済・政策研究』7巻1号（2014年）等がある。